

件 名

ニジガハマギクの定植について

内 容

1. 目 的

地元の地名がついたニジガハマギクは、浅江地区に自生する菊で、秋には3cmほどの可憐な花が沢山咲きます。

光市立浅江小学校に隣接している、潮音寺山(標高62.3m)の整備を、S54年から進めてきました。潮音寺山に自生しているニジガハマギクが減少傾向にあるため、H17年から保護活動に取り組んでいます。

第20回となる今年度も、浅江小学校4年生(115名)の総合学習の時間を利用して、さし芽(6月5日)を実施しました。その後、根付いて大きくなりましたので、以下の要領で定植を行います。

2. 日 時

令和6年10月3日(木) 11:00～11:55(小雨決行)

3. 場 所・方 法

浅江小学校 敷地内

直径約15cmの穴をほり、肥料を入れてビニールポット(黒色・直径約10cm)から苗を取り出し定植する。

4. 指導者

潮音寺山里山づくり推進部部員及びコミュニティ協議会役員

5. ニジガハマギクの由来について

昭和7年に、植物分類学者 牧野富太郎博士により、ノジギクとサンインギクの自然交配種であることが論文発表された。

自生しているところの地名 虹ヶ浜をつけて、ニジガハマギクと命名。

浅江小学校の校章、校旗、帽子等にデザインされ校歌にも歌われているように、浅江の宝として親しまれてきた。

また令和6年、「虹ヶ浜菊」として光市文化財に指定された。

6. 主 催

浅江地区コミュニティ協議会

主管:潮音寺山里山づくり推進部 部長 山本 洋治

問 合 せ

浅江コミュニティセンター(事務局) 電話 0833-72-1438

担当者 潮音寺山里山づくり推進部 部長 山本 洋治

浅江コミュニティセンター 岡本美恵子